

# 一般社団法人 大竹青年会議所

「不易流行」～夢と希望に満ち溢れた輝くJAYCEEを目指して～



## 玖波小・中学校合同 危機管理能力向上を目指して

**安心安全マップ事業**  
 日時：九月二十八日(月)  
 日時：十月十四日(水)  
 場所：玖波中学校  
 場所：玖波小学校

## 二〇一五年度 広報誌 第四号

玖波中学校にて玖波小学校三年生を対象にした安心安全マップ事業を行って参りました。  
 本事業は、人ではなく場所に着眼した防犯事業として、「見えにくく・入りやすい」場所をキーワードに、危険な場所を児童たち自身が判断出来るよう指導して参りました。事前に、玖波中学校二年生が小学生を指導出来るようにマップ作りを学び、体験していただきました。中学生は小学生に教えることで、また小学生は年の近いお兄さんやお姉さんの中学生に教えてもらうことで、両者がより学びを深めることが出来たことと思います。最後に、本事業の意図や趣旨を理解し、青年会議所の事業としてだけでなく、学校行事として行っていただけのことを変え嬉しく思いました。(記事 田中大介)



## 輪投げ・電流ニコニコ棒ゲームを企画

第十九回コイ・こいフェスティバル  
 イン おおたけ  
 日時：十一月八日(日)  
 場所：大竹市 総合市民会館



この度、大竹青年会議所は、こども広場を担当いたしました。地域創生委員会主導のもと、大竹の名所、特産の紹介された地図を用いた「輪投げ」と、銅線に触れないように鉄棒を動かす「電流ニコニコ棒」を企画・運営しました。開催中、通り雨に見舞われる場面もありましたが、前年度以上の多数の来客があり、大盛況となりました！(記事 日野浩爾)

### 【大竹青年会議所ホームページのご案内】

最新の詳しい事業活動の詳細を更新中！！

URL: <http://www.otakejc.com/2015/>

右のQRコードをご利用ください。



facebook

【facebookでも活動情報を公開中！】

右のQRコードをご利用ください。



一般社団法人大竹青年会議所は『まち』と『ひと』を思い活動する20歳から40歳までの青年の団体です。

## ～卒業生紹介～



たにおか まさかず  
谷岡 正和

### 略 歴

2004年 人づくり委員会 委員  
2005年 総務・会員交流委員会 副委員長  
2006年 総務広報委員会 委員長  
広島ブロック協議会 総務渉外委員会 委員  
2007年 創立40周年準備室 室長  
2008年 創立40周年実行委員会 渉外 式典部会長  
2009年 企業家育成委員会 副委員長  
広島ブロック協議会 連携事業推進委員会 委員  
広島ブロック野球大会実行委員会 総括幹事  
2010年 社会開発部門 副理事長  
2011年 人間力開発部門 副理事長  
2012年 専務理事  
2013年 監事 創立45周年・広島ブロック大会実行委員会 実行委員長  
2014年 人間力開発部門 副理事長  
会員拡大実行委員会 副実行委員長  
広島ブロック協議会 災害対策支援委員会 委員  
2015年 理事長



はやし かずあき  
林 和明

### 略 歴

2015年 指導力開発委員会 委員

### Q1 大竹の青年層へ向けて一言

2004年に入会して以来、12年間をこの大竹青年会議所(JC)で過ごさせて頂きました。入会当初、会に参加する事だけが目標で「明るい豊かな社会づくり」なんて途方もない事は他人事であったように思えます。しかし、活動の中で大きな壁にぶち当たった時、手を差し伸べ、一緒に悩んでくれる仲間が存在に気づき、そんな仲間と過ごすにつれ自分中心だった考え方から、仲間、団体、地域へと思いの拡大が図れたように思えます。

どんなにシステム化が進んでも最終的には人対人の関係は続きます。人を磨くのは人でしかないといわれますが、まさにJCは人生の縮図であり、人の厳しさ、そしてその中にある真の優しさが詰まっている団体であると確信しております。その中で行う活動は、まちや人に思いを寄せ、仲間とともに踏み出せば、歩みは小さくても確実に「明るい豊かな社会」につながっている事を実感させてくれたのがJCです。

責任世代である2～30代の皆様、ぜひとも大竹青年会議所でまだ見ぬ仲間と知り合い、自らを磨いてみませんか？ここで過ごした日々は、きっと今後の人生を大きく変える起点となるに違いありません。

### Q2 卒業後の抱負

JCのバッジをつけている間は修業期間であるといわれています。それはJCの仕組みの中で様々な人と出会い、使命感を持って様々な想いを実現するための試行錯誤を繰返している期間だからだと思えます。そのバッジが外れる今、修業が終了し立派な企業人になれたのかどうかは、まだわかりません。今後はJCに所属する谷岡という大きな後ろ盾をなくし、一企業人としての谷岡へと独り立ちをしていかなければなりません。

不安もありますが、JC生活で得た仲間とチャレンジ精神を胸に、まちのため、企業のため、そして自分や家族のために、日々邁進してまいりたいと思います。

### Q1 大竹の青年層へ向けて一言

1年と短い期間でしたが入会し、活動をさせていただきました。入会の動機は、漠然と地域貢献、地域活動をしたいというものでしたが自分の成長だけでなく、大竹を深く知り、明るい豊かなまちづくり、ひとづくりに係われました。

また業種も考え方も違う多くの仲間ができ、率先して動き地域をおもう仲間達との議論や活動は良い刺激となりました。活動での多くの出会いや経験は、私の大きな財産です。

青年会議所では、会社では得られない多くの経験が積める機会があります。その機会を活かすのは、自分のやる気次第ですが、勉強し経験を積み、自分のため、地域のため、情熱を持ち仲間と共に成長してみませんか。

### Q2 卒業後の抱負

短い期間ではありましたが、青年会議所でしか得られない多くの経験が生まれ、素晴らしい仲間と活動ができたこと、沢山の出会いをいただけたことに感謝しております。仕事や消防団等での地域貢献、地域活動は、今後行って参りますが、まだまだ大竹青年会議所でのメンバーと交流、活動をしたかったのが正直な今の気持ちです。

また、現役中、地域や卒業メンバーの多くの方々のご協力がありがたく、助けになりました。私も卒業後、同じように現役メンバーを見守り、時に参画しながら、お役に立てればと思います。

## 青年会議所の基本理念

【JC三信条】

1.個人の修練 2.社会への奉仕 3.世界との友情

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき、会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。

【JC宣言】

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する。

【綱領】

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

## 会員募集

私たちは、新たな仲間を求めています！

20歳～40歳までの青年としての貴重な年月、共に研鑽と成長を重ねる、友情の日々を歩みませんか？

あなたの参加を会員一同、いつでも歓迎いたします！

<編集後記>

北風ずさぶ季節の折、読者の皆様におかれましては、年末に向けてご多用の日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。さて、年度当初より作成して参りました広報誌も第四号となり、今年度最後の発行となります。当広報誌は大竹青年会議所活動と理念の発信を目的に作成して参りました。毎号、多くの市民の皆様にお手に取っていただけた事、大変嬉しく思っております。会員一同、心より感謝申し上げます。最後に大竹市民の皆様が、良き年末年始を迎えられることを、細やかながら願わせて頂きます。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

## 《広報誌・活動・入会に関するお問い合わせ先》

一般社団法人 大竹青年会議所事務局（大竹商工会議所内）  
広島県大竹市油見三丁目18番11号  
Tel 0827-52-8006  
発行者 総務広報委員会

## 第四十五回広島ブロック大会「尾道」

日時：九月十三日(日)  
場所：尾道駅前緑地広場

### 尾道の地に広島の新LOMが集結！

広島県尾道市にて、第四十五回広島ブロック大会が開催されました。本大会のスローガン「須らく熱い魂を結集せよ！魅力あふれる故郷の創造」もと、大会テーマを「故郷魂（マインド）」とし、開催された本大会は、JAYCEEと市民の力が結集して、更なる魅力あふれる故郷創造のきっかけにつながることを趣旨としています。今年も広島県各地の青年会議所から、多くのメンバーが集まりました。大会テーマ「故郷魂（マインド）」は、人と人との絆づくり、故郷づくりの新たな可能性を目指し、人と故郷が融合し、今より明るい豊かな社会の実現に向けて邁進していける広島になることへの願いが込められていました。尾道公会堂で式典並びに憲法フォーラム。別会場のしまなみ交流館では、UN MDGs（国連ミレニアム開発目標・United Nations Millennium Development Goals）認知向上プログラム「自律自活した魅力溢れる広島の創造」セミナーが開催され、学び多き機会となりました。（記事 藤野広志）



## 第六十四回全国大会東北八戸大会

日時：九月二十四日(木)～二十七日(日)  
場所：青森県八戸市各地にて

### 八戸の復興パワーを全国へ伝播！



第六十四回全国大会東北八戸大会は、住まう故郷を愛し、未来を生きる人々のために美しく先駆けるJAYCEEが、夢や希望の抱くことのできる自立自活した地域へ再興し、日本再興へと導く大会として開催されました。

「日本青年会議所の一年間の運動の集大成と共に、幾多の困難を乗り越えてきた八戸の持つ底知れぬ力を全国各地へ伝播させ、活かすことで地域の未来を切り拓く」という名目のもと、大竹青年会議所からも、多数の会員が参加いたしました。遠く八戸の地で、東日本大震災からの復興へ向け、地域のために活躍する地元青年会議所の姿に、八戸の底力を見た気がします。次年度は広島の地にて、第六十五回全国大会が開催されます。我々大竹青年会議所も副主管LOMとして、八戸からのバトンを受け継ぎ、大会成功へ向けての準備をすすめていきます。「全国大会って何！？」「八戸まで行くの！？」など、青年会議所の活動に少しでも興味が出た方は、本広報紙のほか、インターネットで「大竹青年会議所」を検索してみてください！（記事 高橋央史）

## 九月勉強会 指導力開発委員会

日時：九月九日(水)  
場所：大竹市 大竹商工会議所三階 研修室

### 経営者育成、仕上げの一座

指導力開発委員会では、三回の例会。そして今回を含め三回の勉強会において、税理士の篠原敦子講師をお招きし、一般の方を交えながら企業人としての資質向上を目指して開催して参りました。六回に及ぶ連続講座の中で、決算書から自社の問題点を見出し、より利益を上げる未来へ進むための方法として財務諸表の貸借対照表、損益計算書の見方を学びました。

また、キャッシュフロー計算書において、現金管理の重要性。実際に経営戦略を立てる上で重要な損益分岐点を学びました。この度の勉強会では、それら一年間学んだことの復習を行いながら、経営戦略の実践として、損益分岐点の見出し方、その応用方法をより深く学びました。講義中、マイナンバー施行についてもお話しいただき、社員の個人情報管理、税金・社会保障関係の対策をしっかりと学ぶ重要性もお話しいただきました。

一年間受講いただいた皆様は、自社の状況を把握し堅実な経営を行いながら目覚ましい発展を遂げられることを心より願っております。（記事 指導力開発委員会委員長 網代木秀太）（取材 日野浩爾）



# 一般社団法人大竹青年会議所 2015年 9月～11月 活動報告

## より良い未来を目指し 事業を検証

### 九月例会 地域創生委員会

日時：九月七日(月)  
場所：大竹市 大竹商工会議所四階ホール



暑さも本番を迎える七月、人と人と同じ時間を共有する場を提供することが、地域と共に歩むための確実な一歩だと考え、「たけリンピック2015」を開催しました。その中で、我々大竹JCI会員と市民の方々がコミュニケーションを図り、お互いを知り、仲間として過ごせたことは、前進への一歩を踏み出したことと確信いたします。そしてこの度、たけリンピックを通して知り得た仲間と共に、開催までの長期の準備期間に、まちづくりについてどんな意識変化があったかを検証する機会が必要と考え、九月例会を開催しました。一般スタッフの方にとっては、まちづくりに係わる意識の変化に気付くと共に、まちづくりへ携わる意識向上の一助となりました。会員においては地域と共に歩むためにも、人を参画させる仕組みを理解することができたと思います。

一つの目的をきつかけに出会えた、私たち会員と一般スタッフの皆様は、それぞれの枠を超えた素晴らしい仲間でありました。もし仮に、仲間の誰かが、まちづくりの為に助けを求めれば、それに応えようと努力し助け合います。そこには責任感が生まれ、共に成し遂げるところから自信が生まれ、各々のまちづくりへの更なる当事者意識が芽生えます。

まちづくりをするのは「ひと」です。まず私たち自身が意識を変革し、そして周りの人の意識を変革させていくことが、明い豊かな社会へと繋がり、将来の子供たちや多くの人たちに誇れるまちができると確信しております。(記事 地域創生委員会委員長 小城和之)(取材 藤野広志)

## JCI会員資質の向上を目指して

### 十月合同例会 三役会

日時：十月二十日(火)  
場所：岩国市民会館 小ホール

岩国市民ホールにて十月合同例会が開催されました。岩国JCIとの合同例会は一九九九年に始まり、今年で十七回目を数える年となりました。近年では、経済圏を同じとする青年会議所同士、県境を越えた懇親・交流を図り、互いの結束をより強めようという目的のもと開催されてきました。今年もまた懇親交流を目的に、会員資質向上を手法として開催しました。委員会タイムでは、岩国青年会議所OBでもあります、ツバメ石油㈱代表取締役山本宏氏のご講演と、各会員の所属する企業の五年後の未来を考え、話し合うワークを行いました。山本先輩の、JCIで頼まれたことは、全て引き受け、さらに自分なりに足してその職務を達成するということから、自己成長だけでなく多くの繋がりや信頼を得たことを話されました。又会員同士が企業の未来を語り合うで、仕事から交流を深める良い機会になりました。(記事 田中大介)



## 目指せ会員拡大！決意の連判状

### 十一月例会 三役会

日時：十一月七日  
場所：大竹市 大竹商工会議所四階ホール



青年会議所には、二十歳から四十歳までの品格ある青年」という入会制限であり、この制限により、常に組織を若々しく保つことができ、また、それが我々の果敢な行動力の源泉にもなっています。

しかし、これは見方を変えれば、新規入会者がいなければ、会員の減少に歯止めがかからないということでもあります。大竹青年会議所は、「地域社会の正しい発展、ひいては「世界の繁栄と平和」を目的とする団体であり、会員一同誇りを持って活動しています。しかしながら、その会も新しい方に入会いただけないことには存続させることができません。そのため、十一月例会においては、会員を拡大させるための計画を思索し、作成しました。その計画をもとに、今後皆様のところへ、私たち会員が、入会の案内をお持ちし、入会のお誘いをするところがあるかもしれません。その際は、どのような些細な質問でもお答え致しますので、是非耳を傾けていただきますようお願いいたします。(記事 高橋央史)

一般社団法人大竹青年会議所は『まち』と『ひと』を思い活動する20歳から40歳までの青年の団体です。